

2020 年度第 22 回研究力伸張セミナー 英語論文セミナー2020【1】オンライン講座（英語） アンケート調査結果報告書

- 1)調査目的 本調査は、英語論文セミナー2020【1】において、参加者の属性、セミナーの満足度、ニーズ等を把握し、今後の事業計画等の参考とすることを目的とする。
- 2)調査対象 英語論文セミナー2020【1】当日受講者全員
- 3)調査方法 英語論文セミナー2020【1】終了後、メールにて Web アンケートへの回答を依頼
- 4)調査期間 2020 年 8 月 26 日(水)～9 月 14 日（月）

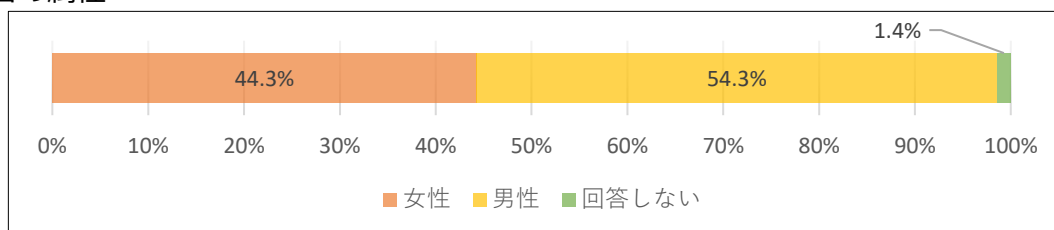
■ アンケート集計結果

回答数 対象者 112 名、回答者 70 名
回答率 62.5%

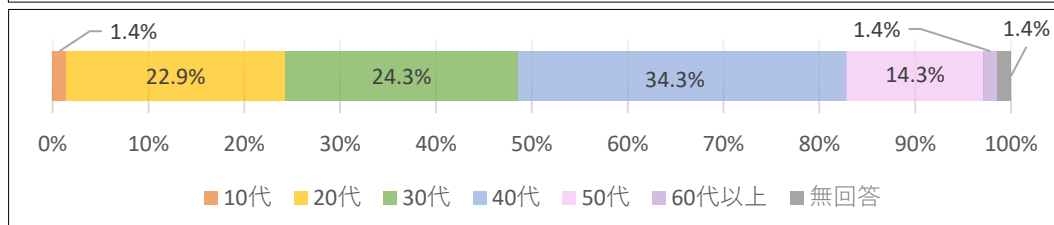
■ アンケート調査結果

問. 回答者の属性

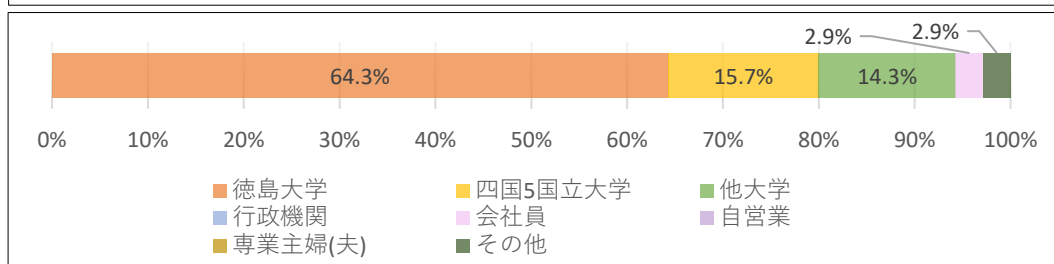
◆性別



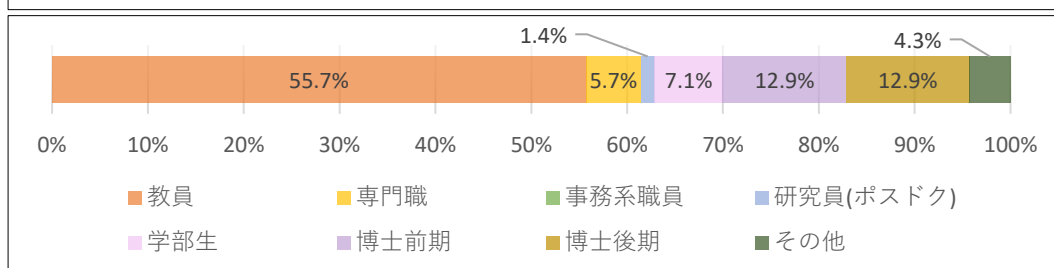
◆年齢



◆所属



◆職種



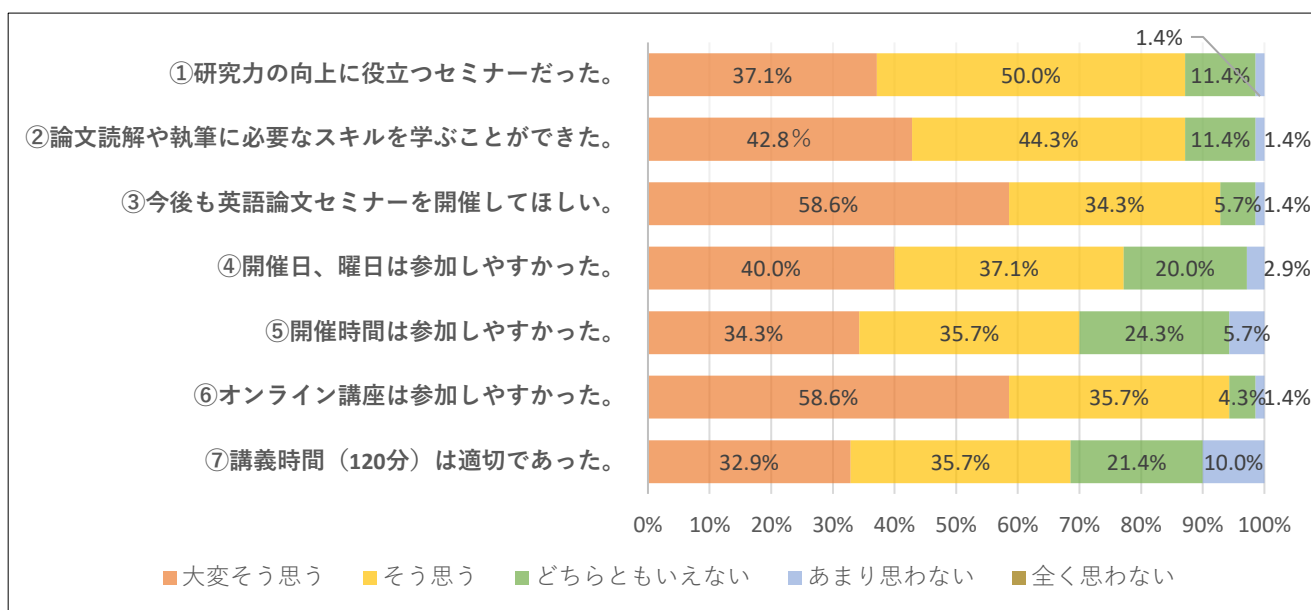
回答者の性別では、女性が 44.3%で男性が 54.3%であった。

年齢は 10 代～30 代が 48.6%で、40 代以上が 50.0%であった。

所属は、徳島大学が 64.3%で、他機関等の学外からは 35.7%であった。

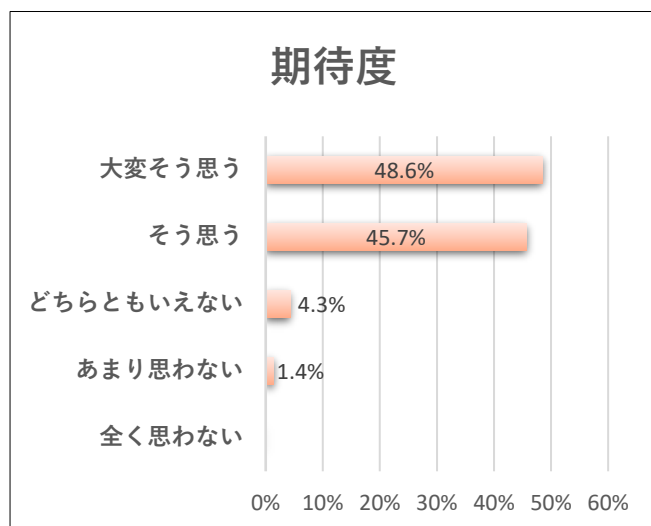
職種は、教員が 55.7%と最も多く、次いで博士前期・後期がともに 12.9%であった。

問. 以下の質問事項について、該当する□にチェックをいれてください。

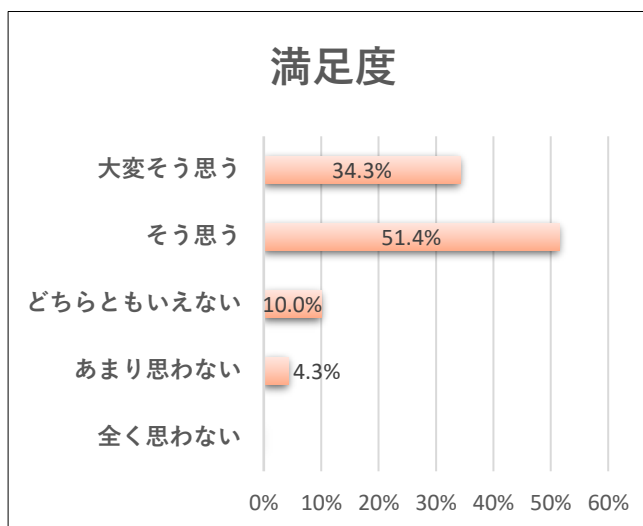


『研究力の向上に役立つセミナーだった』に対して 87.1%、『論文読解や執筆に必要なスキルを学ぶことができた』に対して、87.1%が『大変そう思う』『そう思う』と回答し、有意義なセミナーとなった。また、『今後も英語論文セミナーを開催してほしい』に対しては、92.9%が『大変そう思う』『そう思う』と回答しており、ニーズが非常に高いことがわかった。開催形式については、各項目の『参加しやすかった』に対して、『開催日、曜日』77.1%、『開催時間』70.0%、『講義時間(120分)は適切であった』68.6%が『大変そう思う』『そう思う』と回答しており、概ね参加しやすい形式であったとかがえる。また、今年度より新たに取り入れた『オンライン講座』形式については、94.3%が『大変そう思う』『そう思う』と回答しており、どこからでも参加できるといったメリットがあるためか、高い評価を得た。

・本セミナーに期待していた

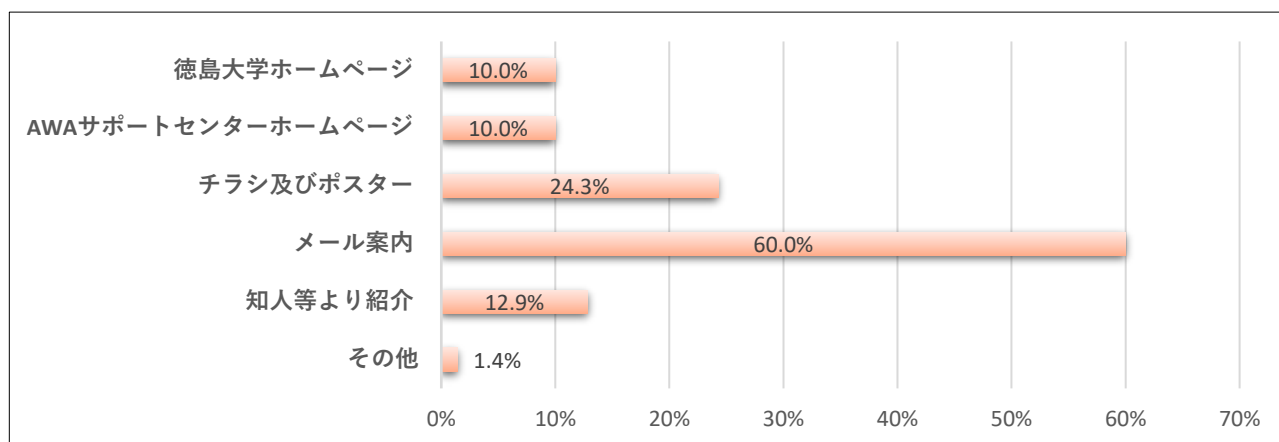


・本セミナーは期待どおりだった



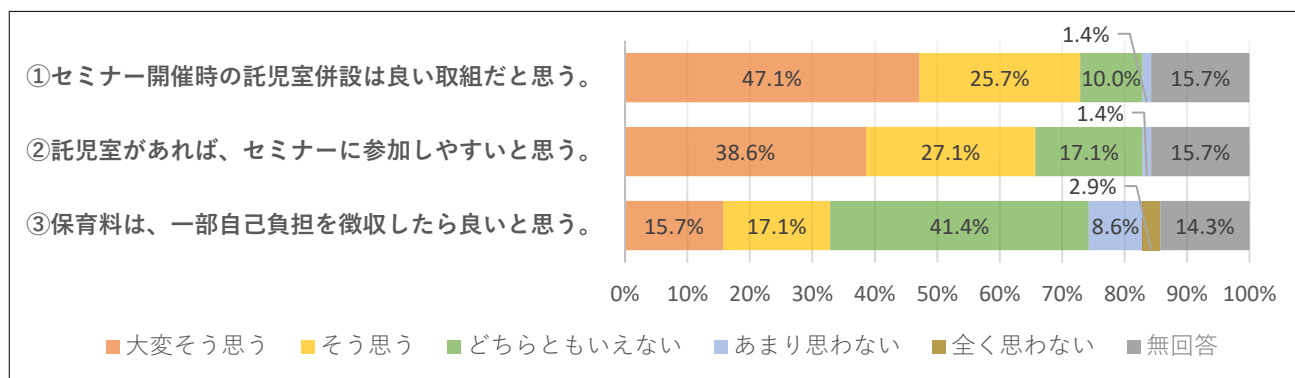
期待度は、『本セミナーに期待していた』に対して、94.3%が『大変そう思う』『そう思う』と回答しており、満足度は、『本セミナーは期待どおりだった』に対して、85.7%が『大変そう思う』『そう思う』と回答している。また、期待度の平均値は 4.4 点、満足度は 4.1 点であり、期待度、満足度ともに高かった。

問. 英語論文セミナー2020【1】の開催はどのように知りましたか。該当する箇所すべてにチェックをいれてください。



開催の広報効果については、『メール案内』が 60.0%と最も高く、次いで『チラシ及びポスター』が 24.3%、『知人等より紹介』は 12.9%であった。

問. 託児室（夕方または土日祝祭日開催時）を併設したセミナーの開催についてお伺いします。



『セミナー開催時の託児室併設は良い取組だと思う』に対して、72.8%が『大変そう思う』『そう思う』と回答し、『託児室があれば、セミナーに参加しやすいと思う』に対して、65.7%が『大変そう思う』『そう思う』と回答しており、概ね、セミナーに参加するための有用な取組との見解が高いことがわかった。

一方、『保育料は、一部自己負担を徴収したら良いと思う』に対して、32.8%が『大変そう思う』『そう思う』と回答し、41.4%が『どちらともいえない』、11.5%が『あまり思わない』『全く思わない』と回答しており、保育料の一部自己負担については見解に相違が見られる。